



いたびつ 板櫃 <校訓> 真理の探究 自主躍進

令和6年6月3日(月)発行
校長 栗原博巳
北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～
<目指す生徒像>
①「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

スクール救命士体験授業(2年生)

5月31日(金)2年生が救命救急講習を受講しました。講習を通して「命の大切さ、尊さ」を学んでもらうとともに、災害時等の救急活動において適切な救命処置ができるバイスタンダーを育成し、救命率の向上につなげることを目的として実施しています。受講した子どもたちは熱心に講師の先生の話の聴き、代表生徒が心肺蘇生法の訓練に取り組みました。

北九州市では、119番に通報をしてから救急車が到着するまでに、およそ8分の時間がかかります。この8分間に、そばにいる方の適切な応急手当が傷病者の救命にとって大変重要となります。北九州市では、「あなたは愛する人を救えますか？」をテーマに、応急手当の普及啓発を推進しています。個人や少人数でも参加できるので、ご家庭でもぜひ救命講習を検討してください。



消防の仕事(北九州市ホームページより)

高齢化社会の進展や、疾病構造の変化に伴い、救急出動件数は年々増加の一途をたどっています。このような救急需要に対応するため、市内に23隊の救急隊を配置するとともに、平日日中に臨時編成する「機動救急隊」を導入し、傷病者の状態に応じた応急処置を施しながら、迅速に医療機関への搬送を行っています。

また、消防ヘリコプターを活用した救急搬送や、高度な応急処置を行うことができる救急救命士

の全救急隊への配置、さらには、市民への応急手当の普及啓発など、救急業務の高度化や救急対応力の強化に努め、傷病者の救命効果の向上を目指しています。

救命救急講習(スクール救命士)って何？



受講によって身に付くのは知識だけでなく、私たちでもできるという“自信”です。いざという時、一歩前に踏み出す勇気が、2年生全員に身に付いたはず！命の大切さを学んだ授業でした。

第64回吹奏楽祭が開催されました！

6月2日(日)第64回吹奏楽祭が北九州ソレイユホールで開催されました。板櫃中学校吹奏楽部は41番目に出場しました。演奏曲は「シネマ・メリック」で、指揮は宮田直也先生です。校長先生も久しぶりに演奏を聴きましたが、とても素晴らしい演奏だったと思います。

今後は、コンクールもあります。県大会出場を目指して頑張ってください。そして、みなさんの演奏で聴いているすべての人を笑顔にしてください。

